

看護部からのお知らせ

*女性の体は自分で守りましょう ～子宮頸がん予防～

当院で、**ガーダシルとシルガード9の予防接種ができます**

質問：子宮頸がんのワクチンを受けたいのですが、どうすればよいでしょうか

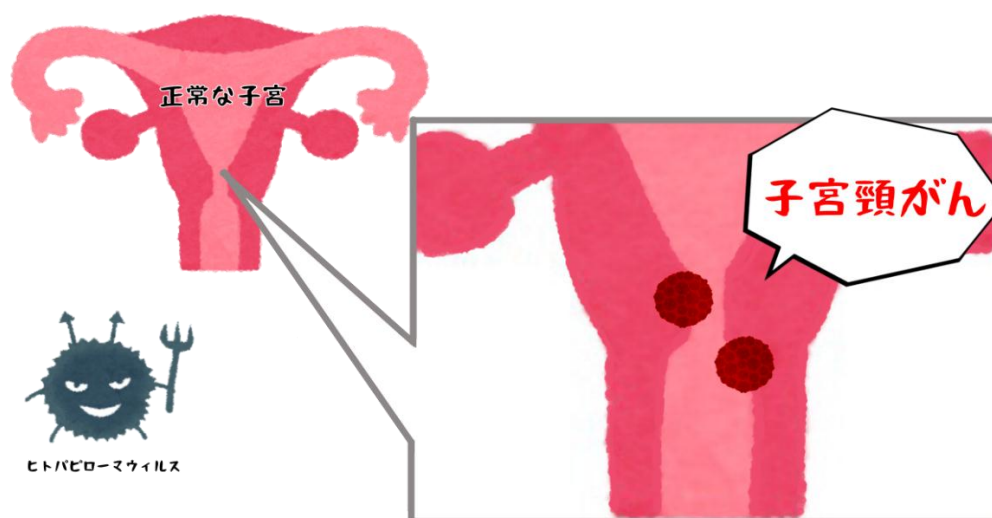
回答：今、子宮頸がん予防のためワクチン接種についての関心が高くなっています。

こちらで簡単に説明させていただきます

1. 子宮頸がんについて

子宮頸がんの発生にヒトパピローマウイルス（HPV）が関わっています。

ヒトパピローマウイルス（HPV）は、性的接触のある女性であれば50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスです。子宮頸がんをはじめ、肛門がん、膣がんなどのがんや、尖圭コンジローマ等、多くの病気の発生に関わっています。特に、近年若い女性の子宮頸がん罹患が増えています。



2. 予防にはワクチンが有効

現在、HPVワクチンは3種類あります

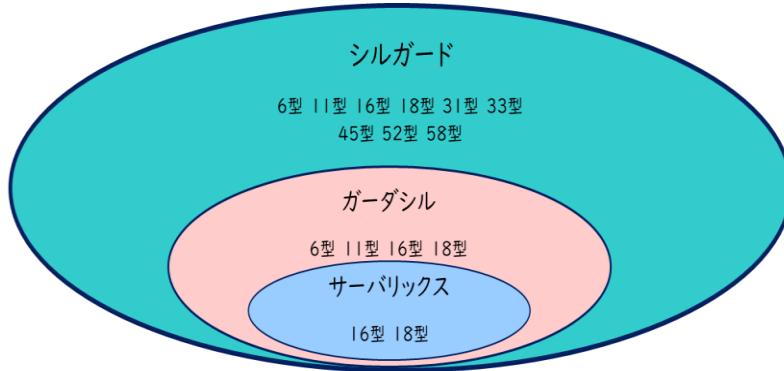
それぞれのワクチンは、たくさんあるウイルスのうち指定したウイルスからがんを予防します

※2価は2種類、4価は4種類、9価は9種類のウイルスに効果があります

サーバリックス（2価）はHPV 16型、18型

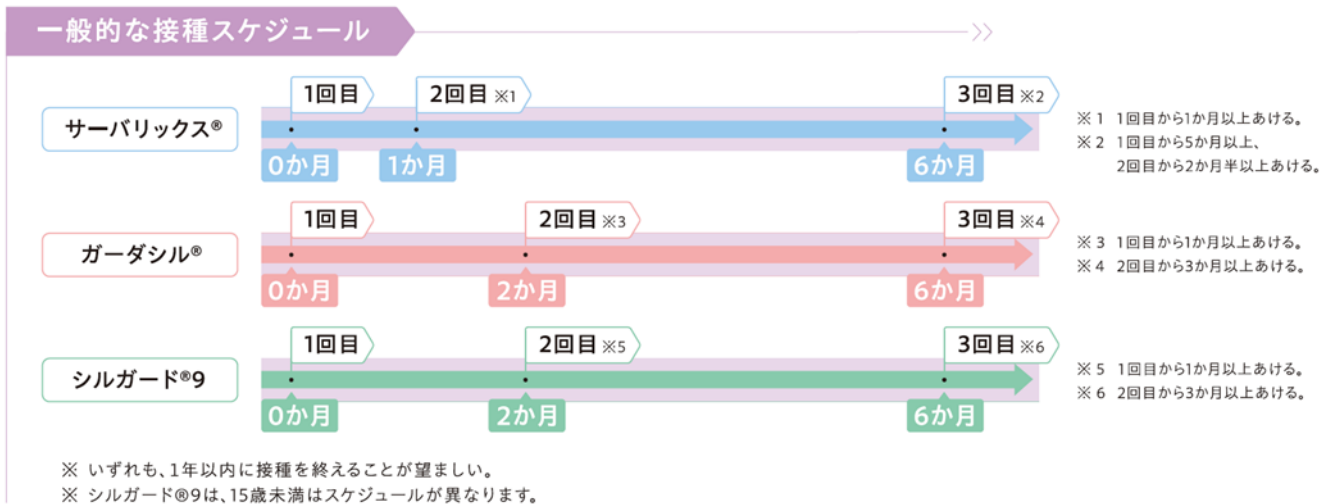
ガーダシル（4価）はHPV 6型、11型、16型、18型、

シルガード（9価）はHPV 6型、11型、16型、18型、31型、33型、45型、52型、58型

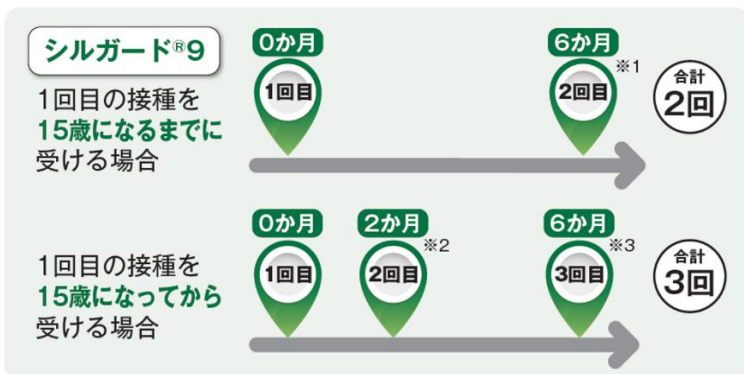


シルガード9は子宮頸がんの原因の80~90%を防ぐと言われています

HPVワクチンは期間をおいて3回接種します（下記図を参照）



「シルガード®9」スケジュール



3. 予診票の確認

まず、行政（市町村）から予診票が届いていれば公費負担（無料）で受けられるので、届いているか確認しましょう。届いていない場合は住民票のある行政窓口にお問い合わせください。

対象は①定期接種者 小学6年生～高校1年生の女の子

②キャッチアップ 平成9年度～平成18年度生まれの女性

（誕生が1997年（平成9年）4月2日～2007年（平成19年）4月1日）

※過去にHPVワクチンを合計3回接種していない方

※キャッチアップ期間は令和7年（2025年）3月末まで接種可能

それ以降は全額自費接種（自己負担）になります

4. 説明書を確認

事前にHPVワクチンについての説明書をお読みになって、ご理解ください

5. 医療機関へ予約

日時もそうですが、HPVワクチンの種類、在庫確認が必要です

6. 当日接種

接種時に必要なもの：予診票 母子健康手帳

住所が確認できるもの（個人番号カード、運転免許証など）

※予診票の住所と現住所が異なる場合は公費が受けられません

ご不明な点は、当院健診センターまたは小児科、行政へお問い合わせください。

また、詳しくは厚生労働省ホームページ もご覧ください。

9価ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン（シルガード9）について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_9-valentHPVvaccine.html

HPV ワクチンの接種を逃した方へ～キャッチアップ接種のご案内

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html

健康・医療 HPV ワクチンに関するQ&A 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_ga.html